

教育目標 豊かな心を持ち たくましく実践する生徒

学校だより

じょうとう

令和3年9月21日発行
第5号

上越市立城東中学校 TEL025-522-1168 FAX025-522-1169
URL <http://www.joto.jorne.ed.jp/> (文責) 教頭 加藤一彦

認め合い、高め合うこと

校長 市川 茂明

2020+1 東京オリンピック、パラリンピックが終了しました。日本選手の大活躍もあって、連日テレビにくぎ付けとなり熱い声援を送ったことでしょう。今回の大会では2000年代生まれの若い選手たちの活躍が目立ちました。中学生の快挙もありました。中でもパラリンピック水泳で銀メダルを獲得した阿賀野市の中学3年生、山田美幸選手の力強い泳ぎとまぶしい笑顔は、県内の中学生に感動と勇気を与えてくれました。また、新種目スケートボードでは、中学1年生で13歳の開心那（ひらき ここな）選手が史上最年少のメダリストとなりました。「プレッシャーは全然感じなかったので、緊張もせず楽しめました」とインタビューに応え、中学生とは思えない集中力とメンタルの強さを見せてくれました。

今回のオリンピックでは、新種目が多く採用されましたが、スケートボードは日本選手の活躍や解説者の軽快なトークも話題となり注目を集めました。私もその一人で、不思議とこの競技に引き込まれました。すり鉢状のコースを滑るパークでは、45秒間の演技（競技）が終了すると、敵味方関係なくお互いを称え合う光景がありました。メダルを懸けた真剣勝負なのに常に笑顔、悲壮感やプレッシャーなど感じさせず、今までのオリンピックにはない新鮮さを覚えました。最終競技者の日本人選手が、逆転を狙い高度の技に挑戦しながらも転倒した場面、全員で選手を持ち上げ、健闘を称えたシーンは感動的でした。だれに対しても称賛の拍手を送り、互いを認め合い、高め合う選手たちから、スケートボードの魅力と新しいスポーツの価値を教えられたような気がしました。

さて、1学期に行った生徒アンケート結果では、「学校には自分の良さを認めてくれたり、自分を高めてくれたりする仲間がいる」の肯定的評価93.7%と高い数値を示しています。これはたいへん価値のある数値だと考えます。なぜなら、自分の頑張りを認めてくれる仲間や教師、家族の存在は、自己肯定感を高め、自信をもって生活することにつながるからです。前述のスケートボードでも、周りの選手の称賛や励ましがどれだけ力になったことでしょう。城東中学校でも、互いを認め合い、高め合う集団づくりに努め、安心して自分らしさを発揮できる温かな風土をこれからも大事にしていきます。

2学期の始業式「Restart」から、もうすぐひと月になります。本来ならば落ち着いた環境の下、様々な教育活動を充実させている2学期のはずです。しかし、新型コロナウイルスの変異株の拡大により、学校行事や部活動等、一層の制約が求められています。そんな中でも生徒たちは状況を冷静に受け止め、感染予防対策を徹底し、落ち着いて生活しています。何より互いを認め合い、高め合う温かな城東中学校を築いてくれています。そんな城東中生が誇りであり、生徒たちには感謝の言葉しかありません。



学校評価アンケート（前期）の結果について

1学期末にご協力いただいたアンケートの結果をお知らせいたします。お忙しい中、ご回答いただきありがとうございます。下表の前回はR2との比較ですが、R2は休校や行事の中止等が多かったため、R元の結果も掲載いたしました。

生徒アンケートの結果（肯定的評価は、4 十分できている そう思う、3 概ねできている 概ねそう思う の合計）

| No. | 質問項目 | 肯定的 選択率 | 前回 R2年7月 | 前々回 R元年7月 | 前回比 |
|-----|--|------------|-------------|--------------|--------|
| 1 | 学習規律(チャイム着席・私語・忘れ物)を守っている。 | 92.6% | 91.7% | 87.5% | 0.9% |
| 2 | 授業がよく分かる。 | 81.7% | 90.4% | 80.2% | -8.7% |
| 3 | 授業では、積極的に発言したり、仲間と関わったりして、意欲的に取り組んでいる。 | 74.8% | 79.1% | 74.4% | -4.4% |
| 4 | 平日の平均家庭学習時間が1時間(60分)+学年×10分を超えている。 | 59.6% | 58.2% | 36.1% | 1.4% |
| 5 | 学習に計画的に取り組んでいる。 | 54.9% | 71.7% | 55.5% | -16.8% |
| 6 | 「あ・じ・み」(あいさつ・じかん・みだしなみ)を守っている。 | 95.0% | 97.2% | 95.2% | -2.2% |
| 7 | 「もうひとつのあ・じ・み」(あいて・じぶん・みんな)を大切にしている。 | 95.8% | 97.9% | 96.3% | -2.1% |
| 8 | 「正しいことを貫き、してはならないことはしない」とする正義の心を大切にしている。 | 94.5% | 95.6% | 93.6% | -1.0% |
| 9 | 「人にも物にもやさしく思いやりの気持ち」をもって、周りの人の気持ちを考えた言動や行動をしている。 | 96.8% | 95.8% | 93.3% | 1.1% |
| 10 | 何事に対しても、自分なりの目標をもち、あきらめずに粘り強く挑戦している。 | 84.5% | | | |
| 11 | 学校が楽しい。 | 89.4% | 92.2% | 87.5% | -2.8% |
| 12 | 安心して学校生活を送っている。 | 94.8% | 94.7% | 92.4% | 0.1% |
| 13 | 友だちとの関係は上手いっている。 | 96.0% | 95.3% | 93.9% | 0.7% |
| 14 | どんな理由があっても、いじめや差別はよくないと思う。 | 95.3% | 97.3% | 97.3% | -2.0% |
| 15 | いじめられている人がいたら、助けてあげたい。(力になってあげたい) | 95.1% | 95.4% | 97.3% | -0.3% |
| 16 | 毎日、朝食をきちんと食べている。 | 95.3% | 92.7% | 93.8% | 2.7% |
| 17 | 夜更かしをせず睡眠を7時間以上とるようにしている。 | 73.7% | 81.4% | 79.7% | -7.8% |
| 18 | メディアの使用時間を気につけ、規則正しい生活を心がけている。 | 64.7% | 72.5% | | -7.8% |
| 19 | 進んで身体を動かし、基礎体力の向上に努めている。 | 78.4% | | | |
| 20 | 学校には自分のよさを認めてくれたり、自分を高めてくれたりする仲間がいる。 | 93.7% | 94.4% | 94.5% | -0.7% |
| 21 | 自分には良いところがある。 | 80.0% | 84.3% | 84.9% | -4.3% |
| 22 | 将来の夢や目標をもっている。 | 71.3% | 82.2% | 76.9% | -10.9% |

保護者アンケートの結果（肯定的評価は、4 十分できている そう思う、3 概ねできている 概ねそう思う の合計）

| No. | 質問項目 | 肯定的 選択率 | 前回 R2年7月 | 前々回 R元年7月 | 前回比 |
|-----|---|------------|-------------|--------------|--------|
| 1 | 子どもは、授業の内容が理解できていると感じる。 | 61.5% | 68.0% | | -6.5% |
| 2 | 子どもは、計画的にこつこつと家庭学習を行っている。 | 50.8% | 58.1% | | -7.3% |
| 3 | 子どもは、「あ・じ・み」(あいさつ・じかん・みだしなみ)ができていると感じる。 | 79.8% | 82.1% | 83.4% | -2.3% |
| 4 | 子どもは、正義の心や思いやりの心を大切にしていると感じる。 | 93.9% | 92.9% | 92.1% | 1.0% |
| 5 | 子どもは、楽しく学校生活を送っていると感じる。 | 89.7% | 93.5% | 92.7% | -3.8% |
| 6 | 子どもは、交通ルールや学校の決まり等を守れていると感じる。 | 96.2% | 95.7% | 93.3% | 0.5% |
| 7 | 子どもに、いじめや差別を許さない態度が育まれていると感じる。 | 97.0% | 96.0% | | 1.0% |
| 8 | 子どもは、規則正しい健康的な生活習慣が身に付いていると感じる。 | 71.0% | 73.8% | 74.7% | -2.8% |
| 9 | 子どもは、進んで身体を動かし、基礎体力の向上に努めていると感じる。 | 71.6% | | | |
| 10 | 城東中学校は、信頼できる学校である。 | 88.7% | 91.3% | 93.6% | -2.6% |
| 11 | 学校から情報は保護者によく伝えられている。 | 78.2% | 87.7% | 88.8% | -9.5% |
| 12 | TV、DVDゲーム、携帯、PCなど、メディアを使用するルールや時間帯を決めている。 | 46.6% | 59.2% | 47.1% | -12.6% |
| 13 | 家族で将来のことについて話し合いをすることがある。 | 62.6% | 75.3% | 68.9% | -12.7% |
| 14 | 1学期中に学校行事やPTA活動で、学校に足を運んだ回数をお知らせください。 | 1.78回 | | 1.66回 | |

※保護者アンケートのNo. 14は、来校回数の平均値

<保護者アンケート自由記述について>

多くの、そして様々なご意見をいただきありがとうございました。一つ一つのご意見を真摯に受け止め、全職員で共有して今後の教育活動に活かしていきます。

また、新しい学習指導要領の全面実施に伴う学力観、学習評価等の変更に対する不安や高校受検への不安等のご意見をいただきました。期末 PTA での担任からの説明等でご理解をいただいた部分もあるかと思いますが、今後ご理解をいただけるように努力していきます。

生徒の学校生活や生徒対応については、私たち教職員の生徒への接し方やコミュニケーションの在り方、身だしなみや登下校の交通安全等についてご指摘をいただきました。今後も一人一人を大切に、心を込めて丁寧にかかわることができるように、研修や研鑽を重ね、生徒に寄り添った指導を心がけて行きます。

第1回学校関係者評価会議の報告

9月16日(木)に第2回学校運営協議会が行われました。5限の「総合的な学習の時間」を参観していただいた後、学校運営協議会を行い、その議事で「第1回学校関係者評価会議」を開催しました。生徒、保護者、職員のアンケートをもとに、運営委員の方々と教務主任、生徒指導主事、研究主任、生徒会主任が参加し、今後の学校運営の方向性や改善の方策等についてグループ協議を行いました。

協議された改善の方向性について、内容の一部を紹介いたします。

- ・「授業がよく分かる」の結果の生徒と保護者の結果にギャップがある。
- ・単元テストの結果の通知が工夫されると良いのではないかと。
- ・不適応を示す生徒は、保護者も悩むことが多い。しっかりとつながって良い方向を見つけてほしい。



- ・単元テストやパフォーマンステストなど指導要領の趣旨を踏まえた体制は良い。学習が不得意な生徒にとって心配が増え過ぎないように検討してほしい。
- ・3年生には、現在の評価での受検にかかわる不安が少しでも解消するように指導や説明が必要。
- ・学年が上がるにつれて、自己肯定感が下がる傾向にある。さらに城東中を向上させるためにも、原因を探り、対応して欲しい。

<今後の改善について>

評価会議の意見を参考に3点に取り組んでいきます。

- ① 分かる授業の在り方やタブレット端末の効果的な活用を、教科部で検討・研修していく。
- ② 単元テストやパフォーマンステスト等への見通しのある学習ができるように、スコーノートの更なる活用、授業の準備連絡(予習、宿題等)を充実させていく。
- ③ 学校生活でのさまざまなルールや制限等について、その意義や価値を見直し、生徒自らが課題に向き合い、考えていく活動を作り上げていく。

今回の学校評価アンケートに限らず、心配なことなどがありましたら、遠慮なく学校にご連絡ください。

